

新型コロナウイルスの感染対策として、少人数・申し込み制にて開催しました。ご参加いただいたみなさま、ありがとうございました。観察記録のレポートを作成しましたのでご覧ください。次回3月のてがたんは3月12日(土)で、テーマは「てがたんしりとり」です。ぜひご参加ください。3月1日の8時30分から電話での申し込みを開始いたします。

市民スタッフのみなさま、次回の下見は3月6日(日)です。

## 2月の観察コースと内容

- コース：鳥の博物館→水の館駐車場側路→親水広場
- 観察日時と天気：2022年2月12日(土) 10:00~11:00 晴れ
- 市民スタッフ：4人(石原直子、伊東茂子、小泉伸夫、**竹本周平**)
- 博物館友の会スタッフ：1人(古澤紀元)
- 鳥博職員：1人(齊藤安行)

※太字は今月の案内人

## 観察した生き物の記録

【鳥類】カモ科：マガモ/カイツブリ科：カイツブリ/ハト科：キジバト/ウ科：カワウ/サギ科：アオサギ、コサギ/クイナ科：クイナ、オオバン/ミサゴ科：ミサゴ/カワセミ科：カワセミ/カラス科：ハシボソガラス、ハシブトガラス/シジュウカラ科：シジュウカラ/ヒヨドリ科：ヒヨドリ/メジロ科：メジロ/ムクドリ科：ムクドリ/スズメ科：スズメ/セキレイ科：ハクセキレイ/家禽や外来種：コブハクチョウ、ドバト

【哺乳類】アズマモグラ(坑道)

【昆虫】カマキリ目：ハラビロカマキリ(卵囊)/カメムシ目：イセリアカイガラムシ、ヨコヅナサシガメ/トンボ目：トンボの仲間(ヤゴ)/コウチュウ目：ナミテントウ、ナナホシテントウ/チョウ目：アオイragの仲間(まゆ)

【クモ】

【植物(花)】ヒガンバナ科：スイセン/カバノキ科：ハンノキ/アブラナ科：ナズナ/ツバキ科：ヤブツバキ、カンツバキ/オオバコ科：オオイヌノフグリ/シソ科：ホトケノザ、ヒメオドリコソウ/キク科：セイヨウタンポポ

【植物(果実)】アサ科：ムクノキ、エノキ/カバノキ科：ハンノキ/アオキ科：アオキ/アカネ科：ヘクソカズラ

【今回のてがたん樹木検定で注目した植物(注目ポイント)】クスノキ科：クスノキ(樹形)/メギ科：ナンテン(葉)/カツラ科：カツラ(冬芽)/マメ科：ハリエンジュ(樹に残った葉軸)/ニレ科：ケヤキ(樹皮と落葉)/アサ科：ムクノキ(樹皮の経年変化)/カバノキ科：ハンノキ(雄花と雌花と種子)/トウダイグサ科：アカメガシワ(樹皮)/ヤナギ科：セイヨウハコヤナギ(樹形)/ミズキ科：ミズキ(冬芽と樹形)/ツバキ科：カンツバキ(花と樹皮)/アオキ科：アオキ(樹皮と葉序と虫こぶ)/モクセイ科：キンモクセイ(副芽)/モチノキ科：イヌツゲ(葉序)

## 2月の観察アルバム



今月のがたんのテーマは、「てがたん樹木検定・冬編」でした。冬芽、樹皮、樹形など、ふだんあまり気かけない樹木の細部に注目しました。樹木それぞれが、生き延びるための戦略を持っていることに気づかされました。最後に、カツラ、アオキ、イヌツゲの部分写真からどの木か当てるクイズを行って終了しました。



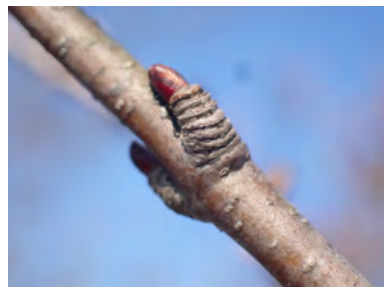
案内人：竹本周平さん



①メジロの爪の痕が残るカンツバキの花



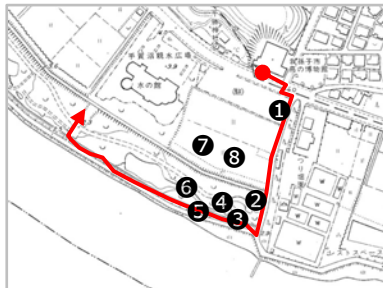
②縦縞模様のムクノキの樹皮



③一年ずつ段を重ねるカツラの混芽



④ハンノキの雄花と雌花



歩いたルートと観察した生き物



⑤アオキの果実の虫こぶ



⑥モズがトンボのヤゴを食べていました



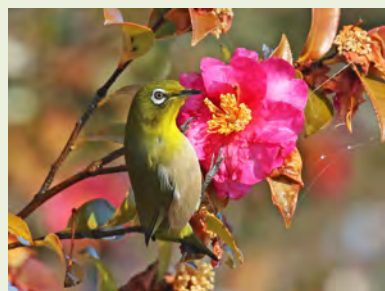
⑦芝生の上で餌を探っていたツグミ



⑧芝生の上で餌を探っていたハクセキレイ

### 今月の鳥 メジロ (スズメ目メジロ科)

メジロは果汁や花の蜜が大好きです。熟した木の実を食べ尽くし、咲く花も少ない厳冬期、生け垣に植えられたカンツバキの花は絶好の食卓となります。カンツバキの花の中心の雌しべと雄しべの生え際は毛で覆われていて、その表面に甘い蜜が粒状に染み出しています。メジロはこの蜜の粒を先が細かく分かれて筆状になった舌で吸い取ります。数羽の群れでチーチーと鳴き交わしながらの食卓はにぎやかです。花びらにぶら下がりながら食事するので、食卓となった花びらには細かな爪の痕が点々と残ることがあります。昆虫の少ない冬に花を咲かせるツバキの仲間は、メジロのような花の蜜を吸う鳥の力を借りて受粉します。



カンツバキの蜜を吸うメジロ